

岐阜県庁舎 実施設計説明書

平成31年2月

岐阜県

目次

| | | | |
|-----|------------|-----|----|
| 1 | 新庁舎の概要 | ・・・ | 1 |
| 1-1 | コンセプト | | |
| 1-2 | 基本方針 | | |
| 1-3 | 計画概要 | | |
| 1-4 | 基本方針の内容 | | |
| 2 | 建築計画 | ・・・ | 3 |
| 2-1 | 外構計画 | | |
| 2-2 | 各階の構成 | | |
| 2-3 | 立面計画 | | |
| 2-4 | 行政棟 | | |
| 2-5 | 議会棟 | | |
| 3 | 構造計画 | ・・・ | 14 |
| 4 | 防災計画 | ・・・ | 15 |
| 5 | セキュリティ | ・・・ | 16 |
| 6 | ユニバーサルデザイン | ・・・ | 16 |
| 7 | 環境計画 | ・・・ | 17 |
| 8 | 設備計画 | ・・・ | 18 |

新庁舎外観



建設地周辺

1 新庁舎の概要

1-1 コンセプト

県政の拠点

行政サービスを着実に担う県政の拠点

「清流の国ぎふ」の象徴

豊かな自然と伝統文化に彩られた本県の魅力を発信

1-2 基本方針

□安全で安心な県民の暮らしを守る県庁舎

高い耐震性／災害時の機能維持／セキュリティ対策／質の高い行政サービス

□県民が集い親しまれ、地域の魅力を発信する県庁舎

親しみやすく利便性の高い庁舎／地域の魅力を発信／ユニバーサルデザイン

□環境やライフサイクルコストに配慮した県庁舎

省エネ・省資源対策／ライフサイクルコストの低減・長寿命化／再生可能エネルギーの活用



新庁舎外観

1-3 計画概要

敷地

| | |
|--------|------------------------|
| 建設地 | 岐阜市藪田南 地内 |
| 敷地面積 | 158,561㎡ (公園等を含む) |
| 法定建ぺい率 | 80% |
| 法定容積率 | 400% |
| 用途地域 | 商業地域 |
| 防火地域 | 準防火地域 |
| 主な周辺道路 | 北側：国道21号 東側：県道岐阜南濃線 |

建物

| | 行政棟 | 議会棟 |
|------|----------------|-----------|
| 主要用途 | 事務所 | 事務所 |
| 構造 | 鉄骨造、免震構造(一部耐震) | 鉄骨造、耐震構造 |
| 基礎構造 | 既製コンクリート杭 | 既製コンクリート杭 |
| 建築面積 | 7,637㎡ | 3,312㎡ |
| 延床面積 | 68,303㎡ | 13,937㎡ |
| 階数 | 地上21階、塔屋2階 | 地上6階 |
| 高さ | 106m(他に鉄塔等あり) | 32m |

事業スケジュール

| 年度 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 |
|----|---------|------|------|------|------|------|----------|
| 設計 | 基本・実施設計 | | | | | | |
| 工事 | | | | 行政棟 | | 議会棟 | |
| 移転 | | | | | | | 移転 開庁 |

1-4 基本方針の内容

安全で安心な県民の暮らしを守る 県庁舎

高い耐震性

- ・大規模地震発生時にも災害対策の中核拠点として十分に機能できるよう、通常建築物の1.5倍の耐震性を確保

災害時の機能維持

- ・特別高圧電力の2回線受電、上水道と地下水の複数水源確保に加え、受変電設備など主要設備の2階以上への配置等により、地震や水害など災害時に庁舎機能を維持
- ・災害対応に従事する職員等が円滑に活動できるよう、危機管理フロアに常設の災害対策本部スペースを確保

セキュリティ対策

- ・個人情報保護や防犯等のため、セキュリティゲート等を設置し、来庁者エリアと執務エリアを区分

質の高い行政サービス

- ・執務室は課室の仕切りのないオープンフロアとし、できる限り各部局を同一フロアに配置して連携等を強化
- ・ペーパーレス会議などに活用できる、高速通信可能な庁内ネットワーク環境を整備して業務を効率化
- ・仕事と子育てが両立できる職場環境の整備に向け、職員に加え地域の方も利用可能な保育所を設置

県民が集い親しまれ、地域の魅力を 発信する県庁舎

親しみやすく利便性の高い庁舎

- ・来庁者エリアに木やタイル、和紙を使用するとともに、外壁には木肌の色合いの木目調PCパネルを使用
- ・正面玄関を1階に置くとともに、来庁者の多い総合窓口や利便施設を低層階に配置
- ・県民参加の講演会等にも活用できる県民ホールを設置
- ・来庁者エリアに公衆無線LAN（Wi-Fi）を整備
- ・庁舎前スペースと公園との繋がりをもたせ、県民参加行事等での一体活用

地域の魅力を発信

- ・世界に誇る遺産やぎふブランドなど魅力的な地域資源を紹介するギャラリーを設置
- ・多彩な表現が可能なデジタルサイネージによる情報発信
- ・山々や街並みを360度見渡せる展望ロビー

ユニバーサルデザイン

- ・歩行者と車両の動線をできる限り分離するなど、安全でスムーズな移動ができる動線計画
- ・車椅子利用者や子ども連れの方等が使用しやすい機能を備えた多目的トイレや、授乳室を設置
- ・議場に、車椅子利用者傍聴スペースや手話通訳モニター、親子傍聴室などを設置

環境やライフサイクルコストに 配慮した県庁舎

省エネルギー・省資源対策

- ・断熱・遮蔽性能の高い窓ガラスの導入や、屋内外の温度差を利用した室内換気により、エネルギー使用量を低減
- ・豊富な地下水の雑用水としての使用や、雨水を植栽散水に用いるなど、水資源を有効に活用
- ・エネルギー使用状況を管理・分析し、効率的な設備運転を行うビルエネルギー管理システム（BEMS）を導入

ライフサイクルコストの低減・長寿命化

- ・LED照明や長寿命型蓄電池の導入により、ライフサイクルコストを低減
- ・耐久性のあるPCパネルや乾式施工によるタイルを外壁に使用
- ・設備の維持管理スペースを十分に確保し、適切に保守

再生可能エネルギーの活用

- ・長い日照時間を活かした太陽光発電、年間を通じて温度の安定した地中熱や太陽熱の空調・給湯への活用

建築物の環境性能評価

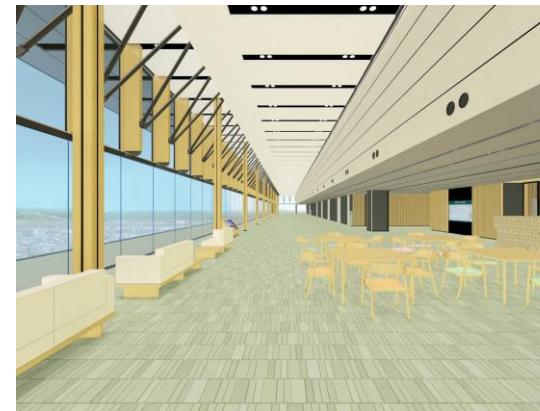
- ・建築環境総合性能評価システム（CASBEE）で最高「Sランク」、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）で「四つ星」を取得予定



災害対策本部



エントランスホール



展望ロビー



議場

2 建築計画

2-1 外構計画

一体的で調和のとれた建物配置

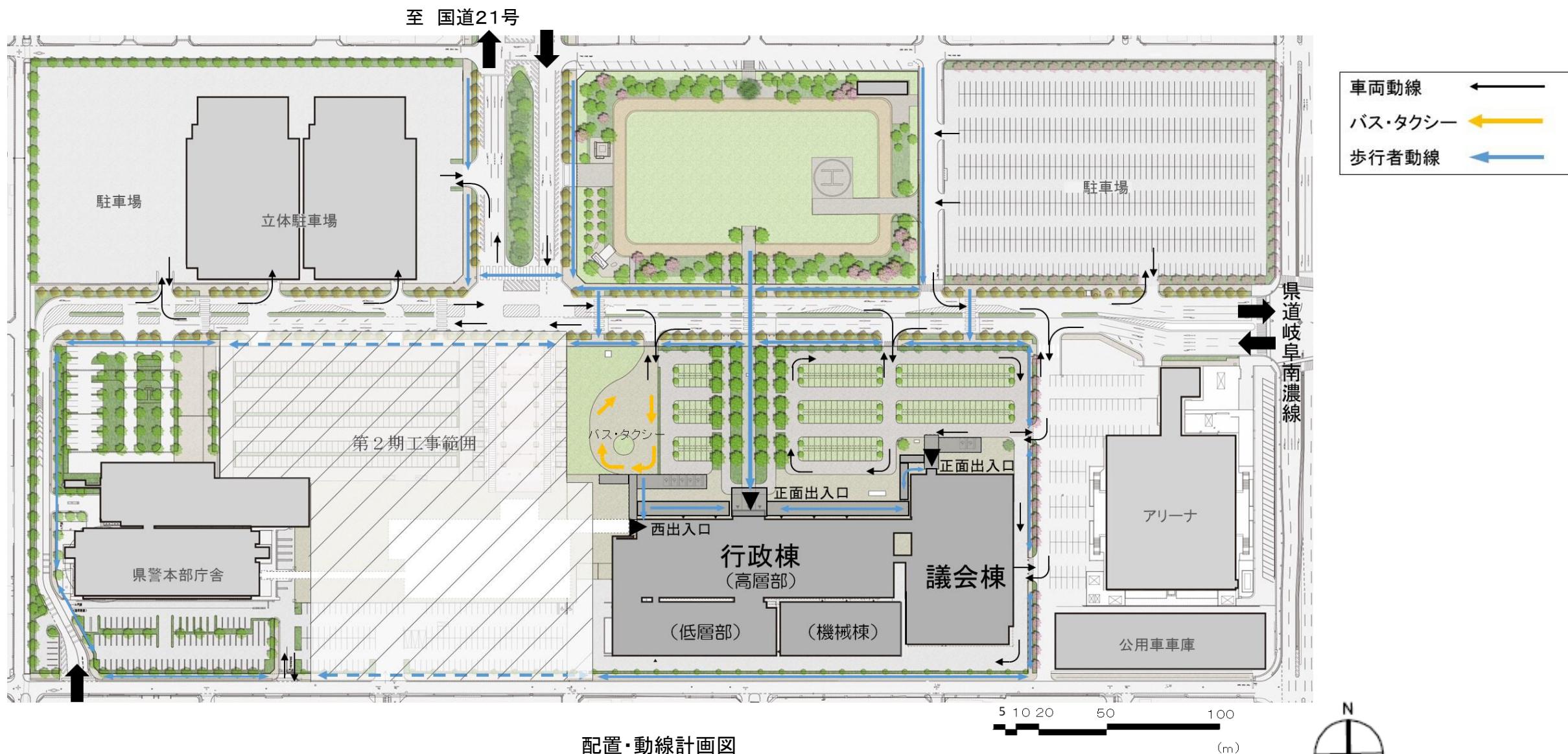
- 県警本部庁舎を加えた300mに及び建物群の調和を図り、敷地南側に建物を集約して配置
- 建物は、機能ごとに別棟とし、それぞれの独立性を確保するとともに、連絡通路等で相互に接続
- 行政棟の正面玄関前のアプローチに並木を配置し、行政棟と公園との一体性のとれた景観を創出

県民に親しまれる緑豊かな空間・公園

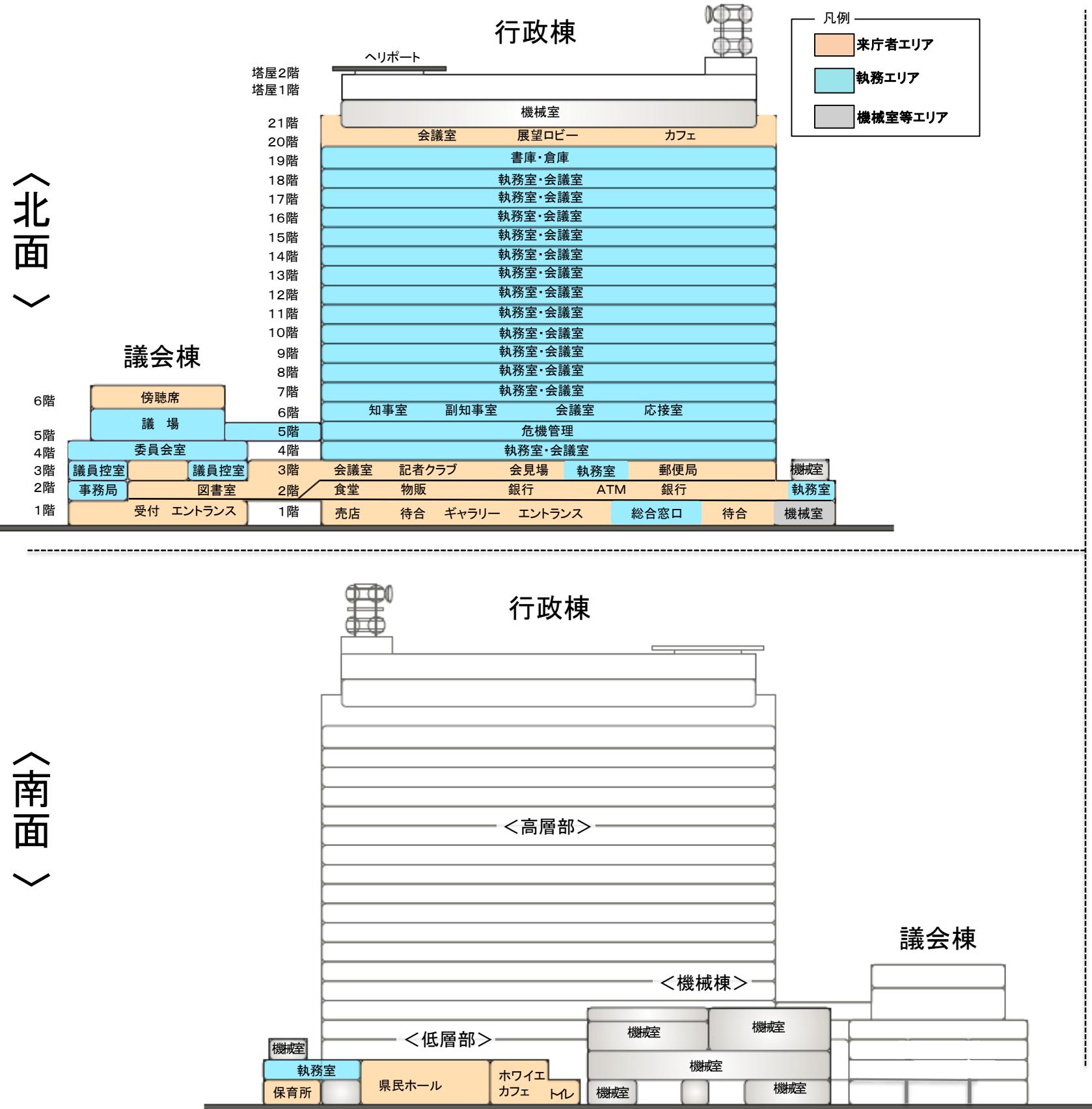
- 公園や来庁者駐車場の植栽や街路樹の整備など、緑豊かな空間を形成
- 散策も可能な歩道を敷地周囲などに設置し、県庁敷地を憩いの空間としても利用できるよう整備
- 公園には多様なイベントが開催できる芝生広場に加え、災害時対応としてのヘリポート等を整備

来庁者にやさしい動線計画

- 正面玄関を1階とし、バリアフリーに配慮するほか、分かりやすい案内サインや誘導設備を導入
- 一般車、バス・タクシー、公用車の通行エリアと歩行者動線を整理し、安全を確保
- バス停や車椅子用駐車場等から庁舎への移動時、雨に濡れることのないよう、建物前に庇を設置



2-2 各階の構成



建物規模表

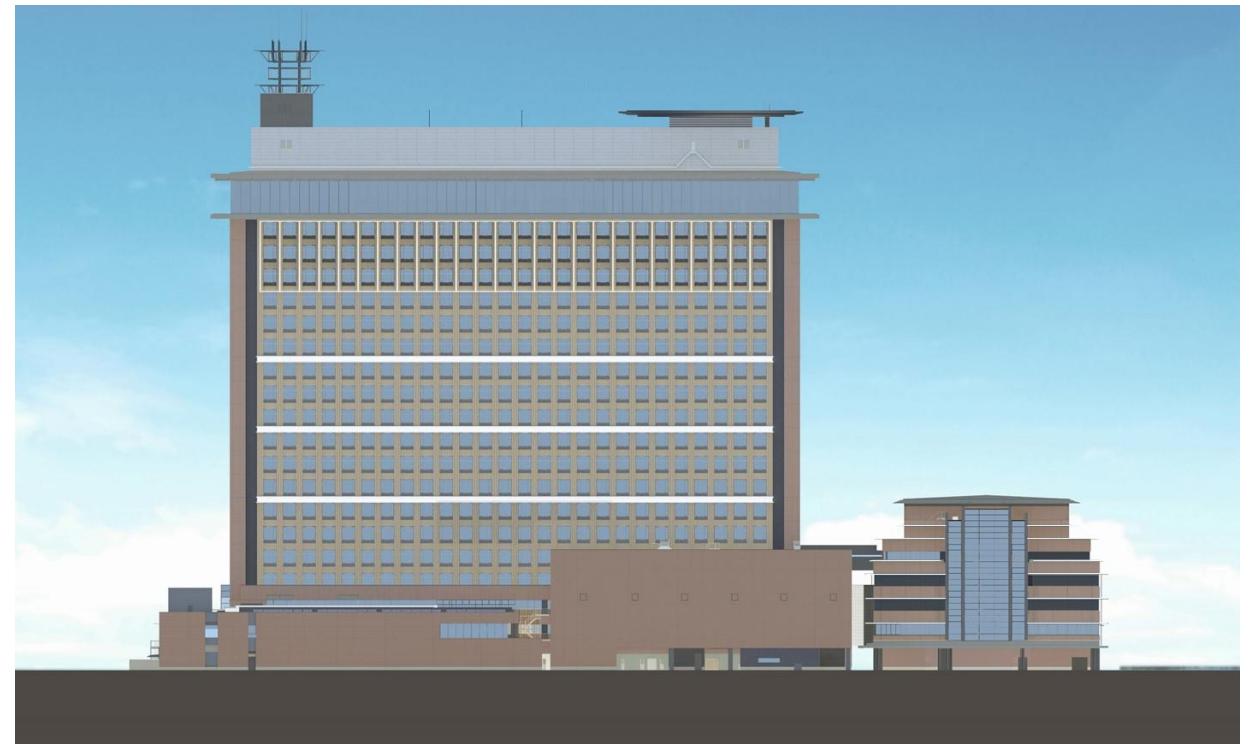
| 階数 | 行政棟 | | | 議会棟 |
|----------------------|--------|-------|----------|--------|
| | ＜高層部＞ | ＜低層部＞ | ＜機械棟＞ | |
| 高さ(m) | 106 | 15 | 22 | 32 |
| 面積計(m ²) | 61,854 | 3,190 | 3,259 | 13,937 |
| 各階面積 | 塔屋2階 | 65 | - | - |
| | 塔屋1階 | 133 | - | - |
| | 21階 | 1,838 | - | - |
| | 20階 | 2,993 | - | - |
| | 19階 | 2,904 | - | - |
| | 18階 | 2,904 | - | - |
| | 17階 | 2,904 | - | - |
| | 16階 | 2,895 | - | - |
| | 15階 | 2,895 | - | - |
| | 14階 | 2,895 | - | - |
| | 13階 | 2,895 | - | - |
| | 12階 | 2,895 | - | - |
| | 11階 | 2,895 | - | - |
| | 10階 | 2,895 | - | - |
| | 9階 | 2,904 | - | - |
| | 8階 | 2,904 | - | - |
| | 7階 | 2,904 | - | - |
| 6階 | 2,904 | - | - | 1,239 |
| 5階 | 2,963 | - | - | 1,953 |
| 4階 | 2,904 | - | (塔屋) 151 | 2,539 |
| 3階 | 3,093 | 173 | 482 | 2,573 |
| 2階 | 3,458 | 954 | 1,320 | 2,339 |
| 1階 | 3,814 | 2,063 | 1,306 | 3,294 |

2-3 立面計画

北側立面図



南側立面図



東側立面図

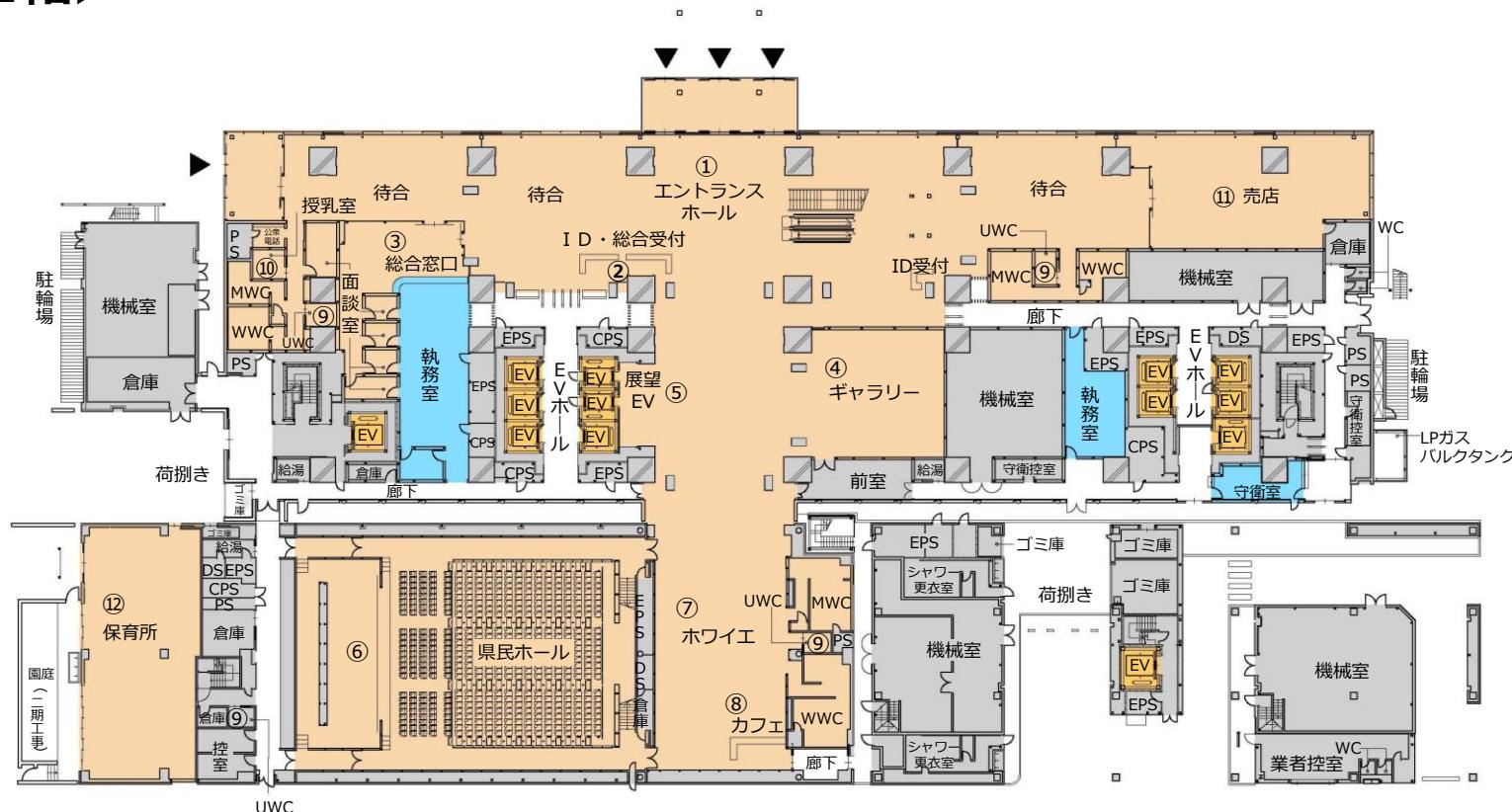


西側立面図



2-4 行政棟

<1階>



【1階】

- ① エントランスホール
内装に木やタイルを多く用いるほか、明るく開放的な空間として整備
- ② 総合受付
メインエントランス付近に、来庁者への庁舎案内と入館手続きなどを行う総合受付を配置
- ③ 総合窓口
県民からの問い合わせへの対応や、情報公開手続きなどを行う総合窓口を配置
- ④ ギャラリー
世界遺産、観光資源等に関する情報発信や、県産品等を紹介するギャラリーを設置
- ⑤ 展望エレベーター
1階、2階、3階から、20階の展望フロアに直行できるエレベーターを設置
- ⑥ 県民ホール
シンポジウムや講演会、表彰式典等にも活用できる500人規模の大ホールを設置
- ⑦ ホワイエ
県民ホール前に、明るく開放感のあるホワイエを設置
- ⑧ カフェ
ホワイエにカフェを設置
- ⑨ 多目的トイレ（UWC）
車椅子使用者、子ども連れの方等が使用しやすい機能を備えた多目的トイレを設置
- ⑩ 授乳室
乳幼児連れの方が気軽に訪れることができるよう、調乳器を備えた授乳室を設置
- ⑪ 売店
来庁される方誰もが利用できる売店を設置
- ⑫ 保育所
仕事と子育てが両立できる職場環境の整備に向け、職員に加え地域の方も利用可能な保育所を設置



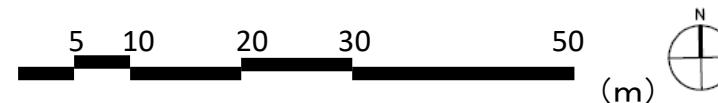
エントランスホール



県民ホール

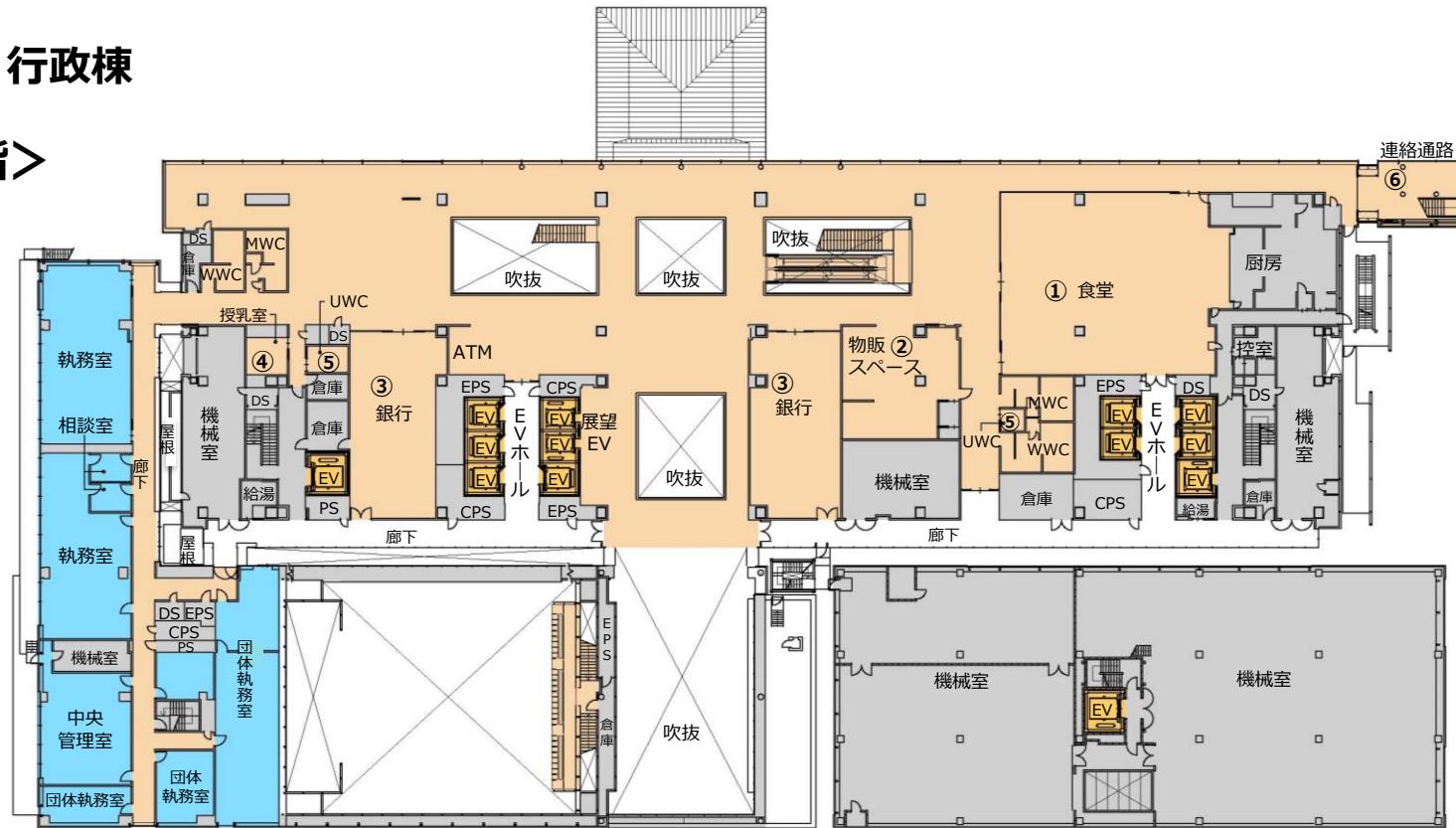
【凡例】

: 来庁者エリア、
 : 執務エリア、
 : 機械室等エリア、
 UWC: 多目的トイレ、MWC: 男性用トイレ、WWC: 女性用トイレ
 EV: エレベーター、EPS: 電力配線スペース、CPS: 通信配線スペース、DS: ダクトスペース、PS: 配管スペース



2-4 行政棟

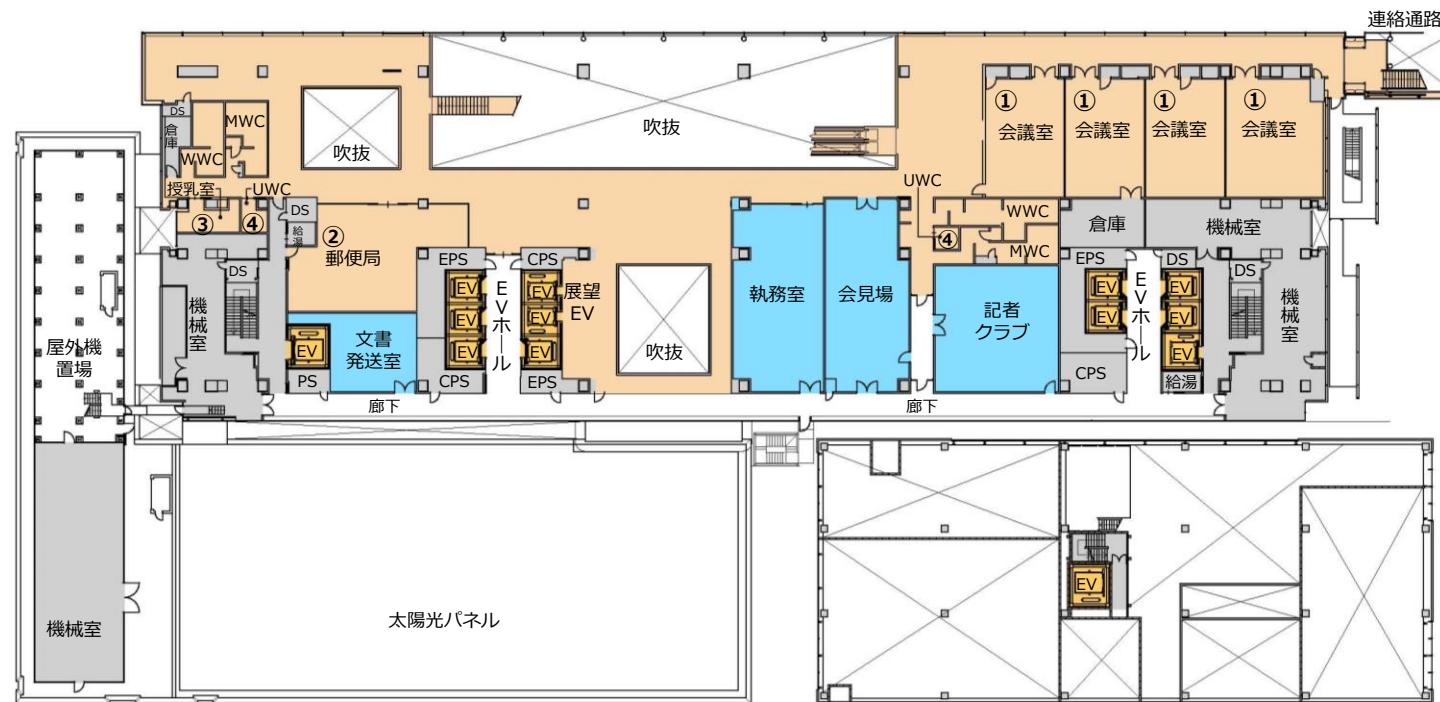
<2階>



【2階】

- ① 食堂
来庁される方誰もが利用できる食堂を設置
- ② 物販スペース
来庁される方誰もが利用できる、書籍など様々な物品の販売スペースを設置
- ③ 銀行
利便施設として銀行を配置
- ④ 授乳室
乳幼児連れの方が気軽に訪れることができるよう、調乳器を備えた授乳室を設置
- ⑤ 多目的トイレ (UWC)
車椅子使用者、子ども連れの方等が使用しやすい機能を備えた多目的トイレを設置
- ⑥ 議会棟との連絡通路
行政棟と議会棟をつなぐ連絡通路を2階と5階に設置

<3階>

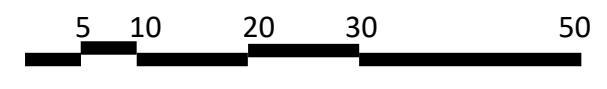


【3階】

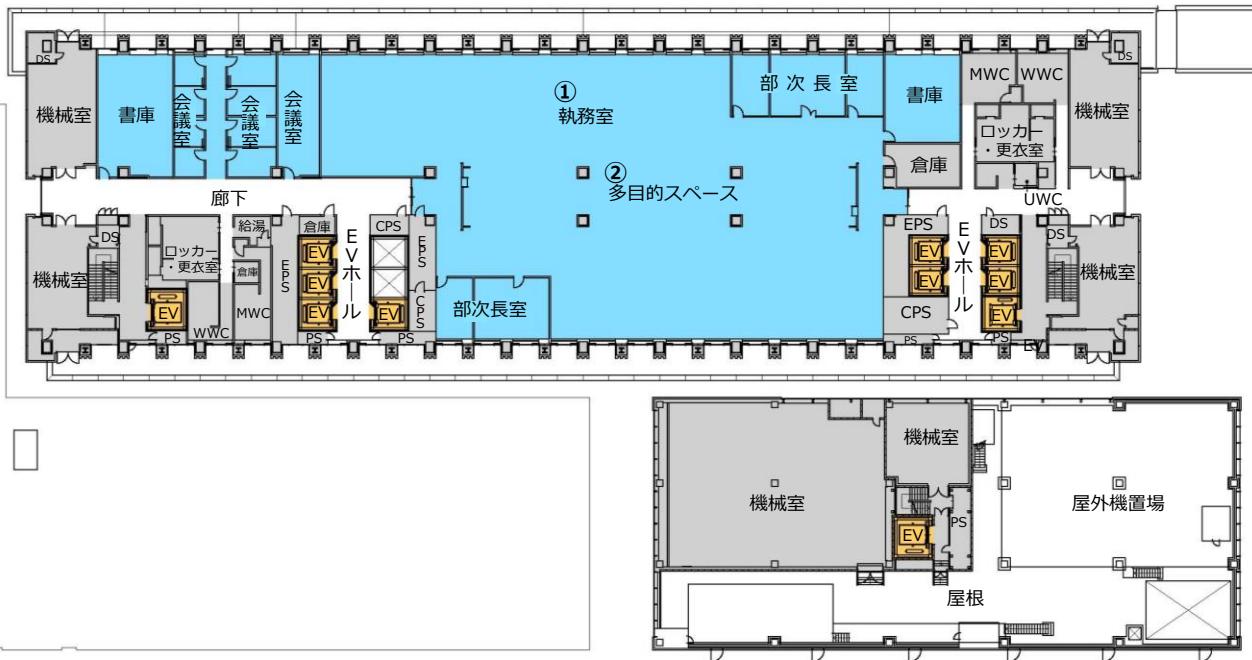
- ① 会議室
職員同士の打合せや、説明会等を行う会議室を設置
- ② 郵便局
利便施設として郵便局を配置
- ③ 授乳室
乳幼児連れの方が気軽に訪れることができるよう、調乳器を備えた授乳室を設置
- ④ 多目的トイレ (UWC)
車椅子使用者、子ども連れの方等が使用しやすい機能を備えた多目的トイレを設置

【凡例】

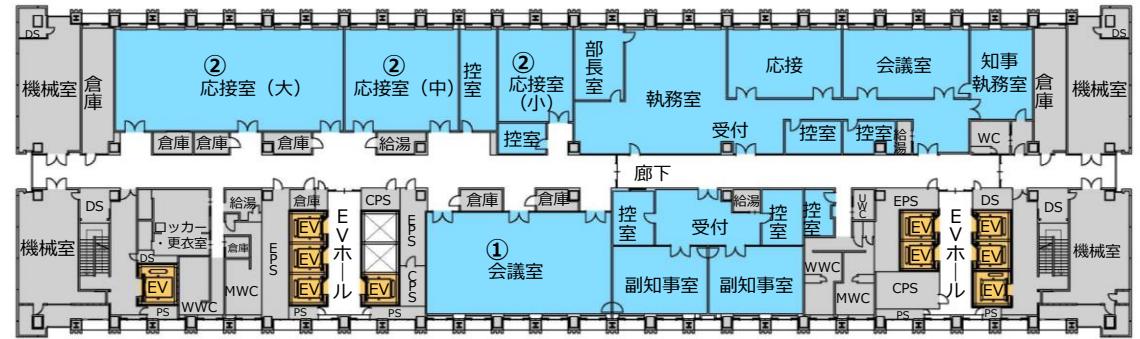
: 来庁者エリア、
 : 執務エリア、
 : 機械室等エリア、
 UWC: 多目的トイレ、MWC: 男性用トイレ、WWC: 女性用トイレ
 EV: エレベーター、EPS: 電力配線スペース、CPS: 通信配線スペース、DS: ダクトスペース、PS: 配管スペース



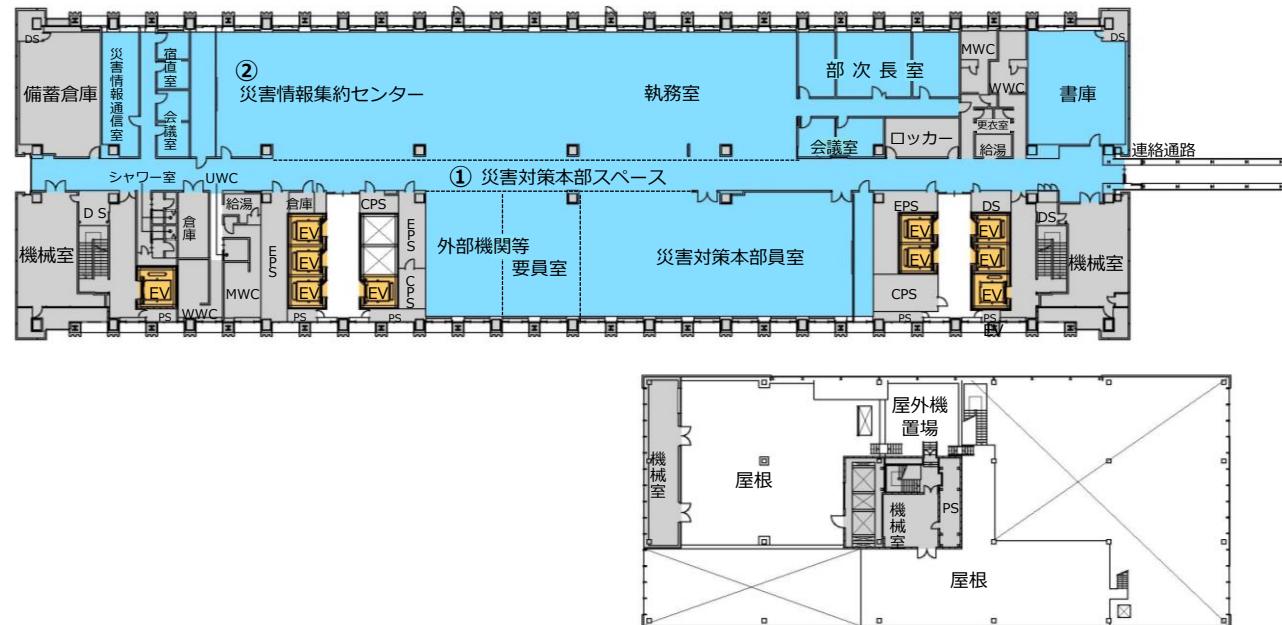
2-4 行政棟 ＜4階＞



＜6階＞



＜5階＞



【4階】

- ① 執務室
執務室は課室の仕切りのないオープンフロア形式で配置
- ② 多目的スペース
打合せ等に使用できる多目的スペースを設置

【5階】

- ① 災害対策本部スペース
災害時における災害対策本部員会議の開催や、災害対応に従事する職員等が連携して活動を行う災害対策本部スペース
平常時は、パーティションで仕切り、会議室等として使用
- ② 災害情報集約センター
災害発生時、迅速・的確な対応を行うために、情報の収集や集約を行う災害情報集約センター

【6階】

- ① 会議室
県幹部職員が県政方針の議論等を行う会議室
- ② 応接室
様々な来客への対応や表彰等の式典を行う応接室

【凡例】

: 来庁者エリア、
 : 執務エリア、
 : 機械室等エリア、
 UWC: 多目的トイレ、MWC: 男性用トイレ、WWC: 女性用トイレ
 EV: エレベーター、EPS: 電力配線スペース、CPS: 通信配線スペース、DS: ダクトスペース、PS: 配管スペース



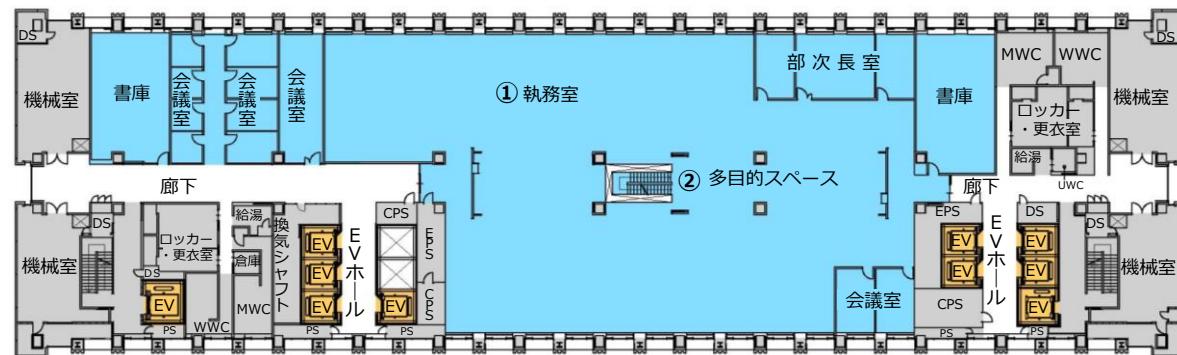
2-4 行政棟

<7階>

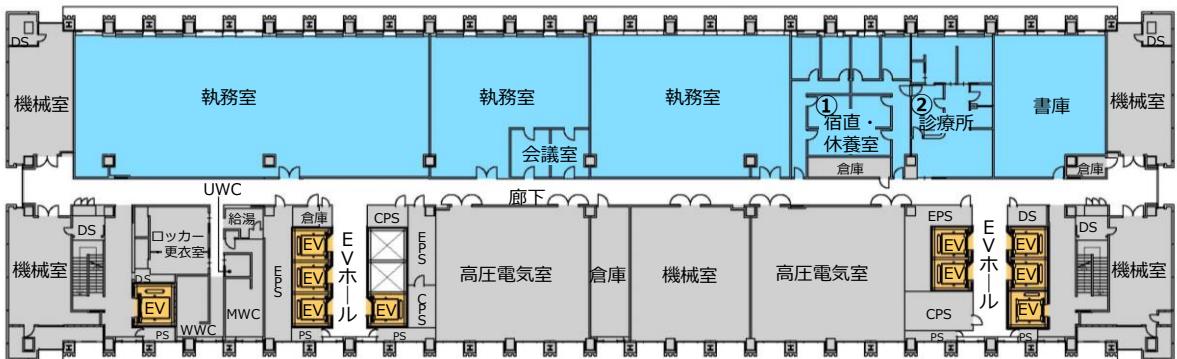


<10・12・14・16階>

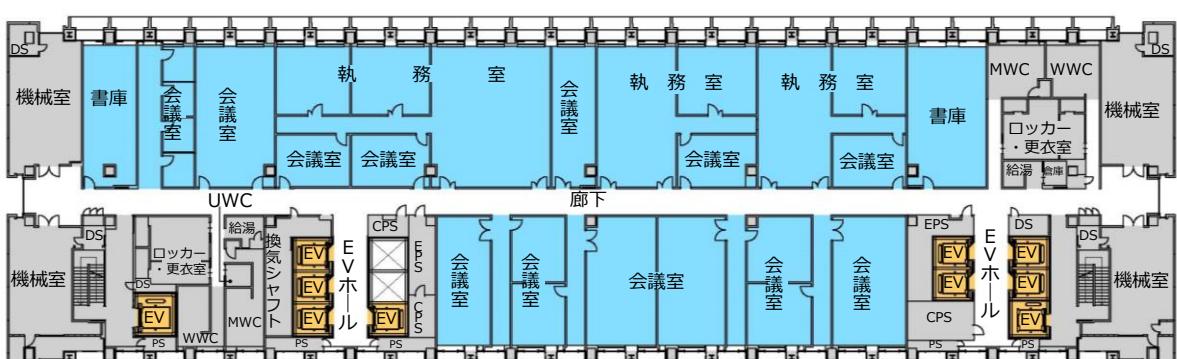
※中央階段は10階のレイアウト



<8階>

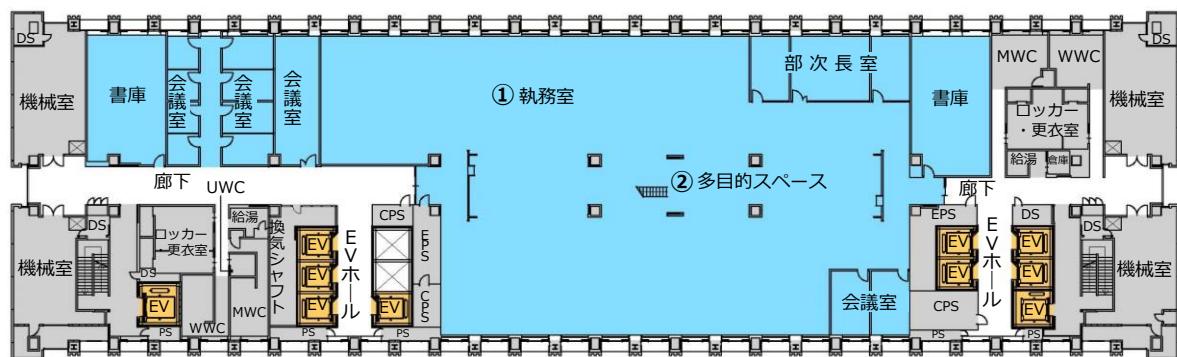


<17階>

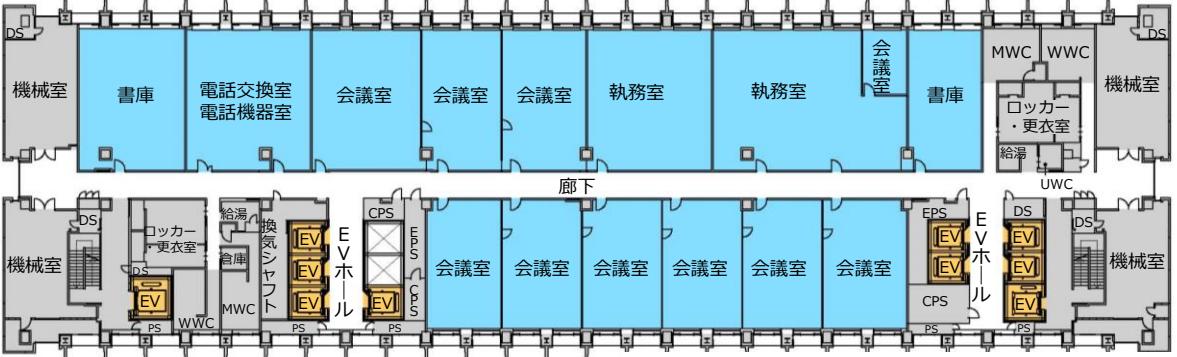


<9・11・13・15階>

※中央階段は9階のレイアウト



<18階>



【8階】

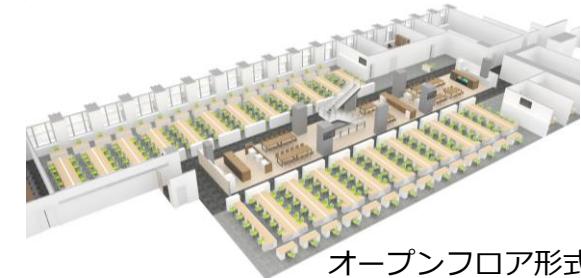
- ① 宿直・休養室
職員用の宿直室・休養室を設置
- ② 診療所
福利厚生施設として、診療所を設置

【7、9～16階<共通>】

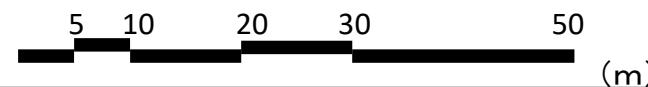
- ① 執務室
執務室は課室の仕切りのないオープンフロア形式で配置
- ② 多目的スペース
各階執務室の中央部分に、打合せ等に使用できる多目的スペースを設置
9～16階においては、別フロアとの連携を容易にするための階段を設置

【凡例】

: 来庁者エリア、
 : 執務エリア、
 : 機械室等エリア、
 UWC: 多目的トイレ、MWC: 男性用トイレ、WWC: 女性用トイレ
 EV: エレベーター、EPS: 電力配線スペース、CPS: 通信配線スペース、DS: ダクトスペース、PS: 配管スペース

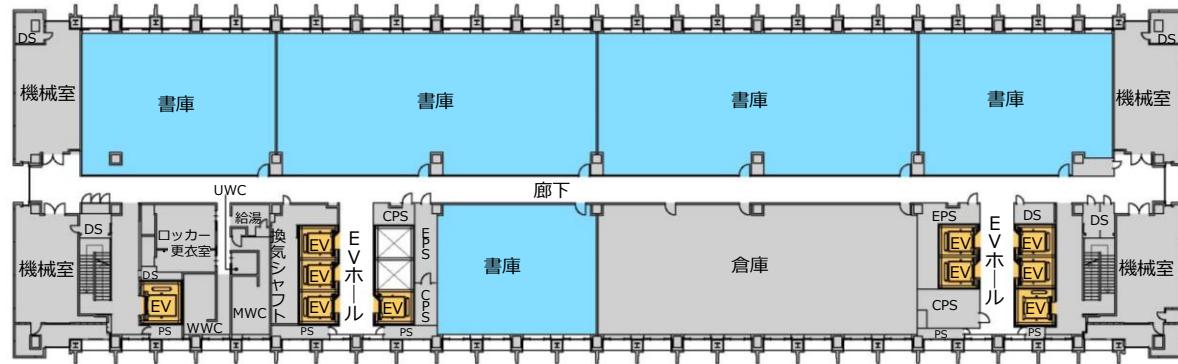


オープンフロア形式の執務室

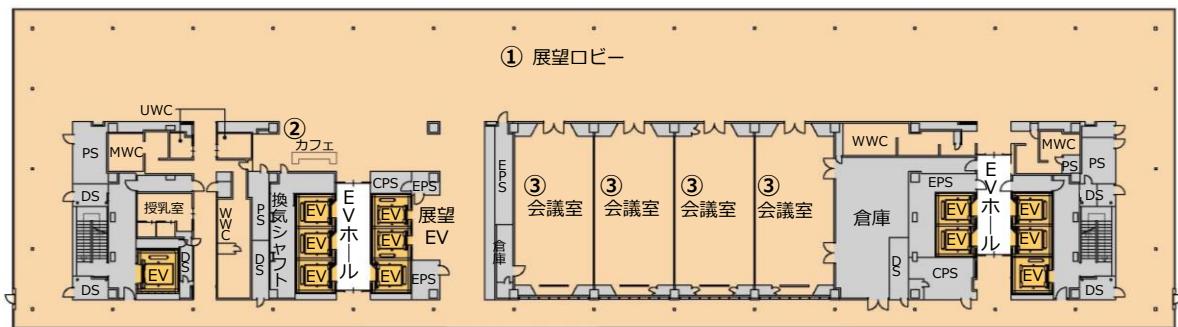


2-4 行政棟

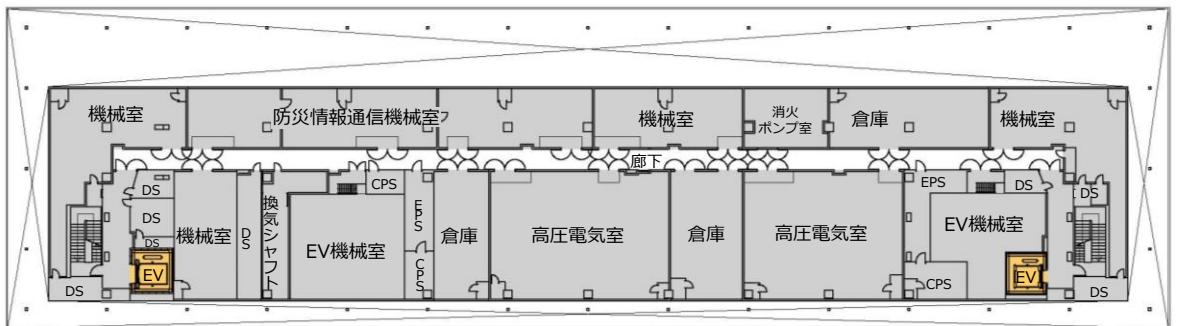
<19階>



<20階>



<21階>



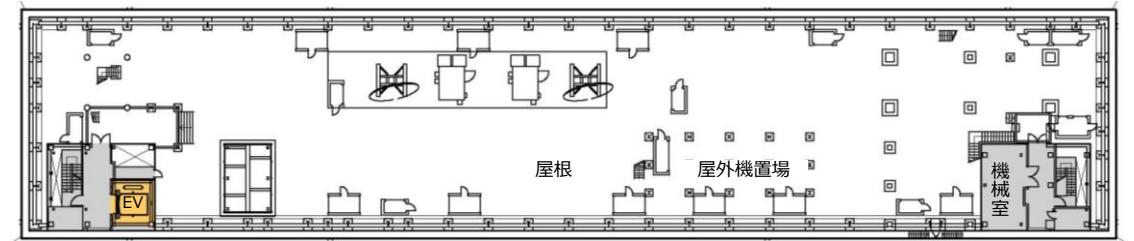
【20階】

- ① 展望ロビー
岐阜の山々や清流、岐阜の街並みを一望できる展望ロビーを設置
- ② カフェ
展望ロビーにカフェを設置
- ③ 会議室
職員同士の打合せや、説明会等を行う会議室を設置

【凡例】

色分け : 来庁者エリア、色分け : 執務エリア、色分け : 機械室等エリア、UWC : 多目的トイレ、MWC : 男性用トイレ、WWC : 女性用トイレ
EV : エレベーター、EPS : 電力配線スペース、CPS : 通信配線スペース、DS : ダクトスペース、PS : 配管スペース

<塔屋1階>



<塔屋2階>

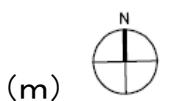


<屋上ヘリポート>

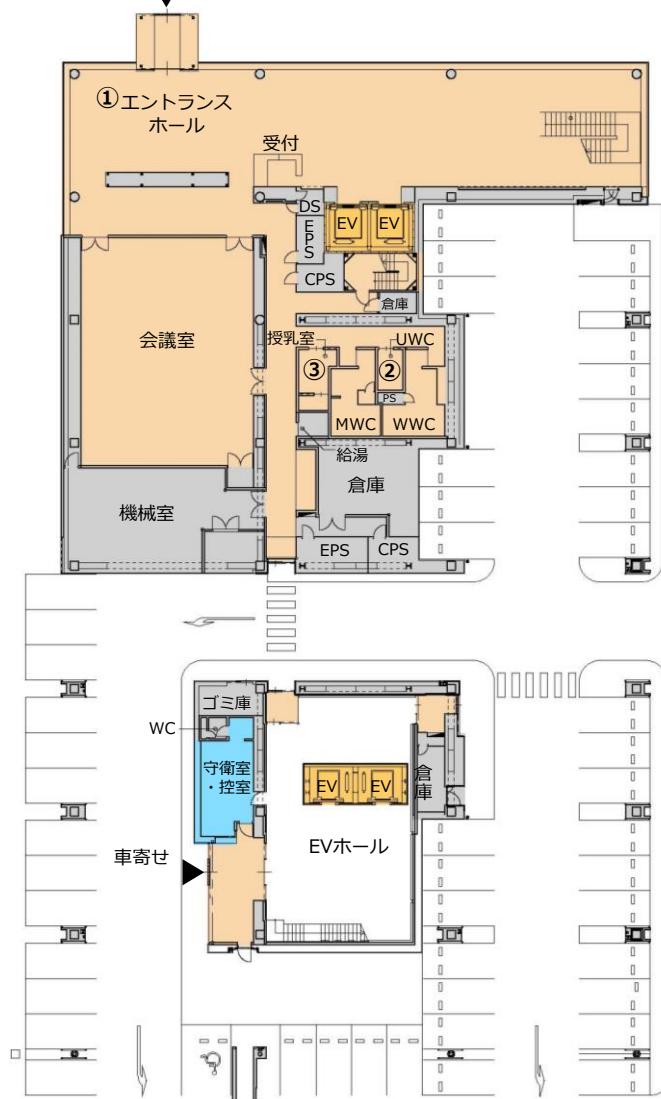


【屋上ヘリポート】

- ① 屋上ヘリポート
建物火災時等の消防活動や避難のための緊急用のヘリポートを設置



2-5 議会棟 〈1階〉



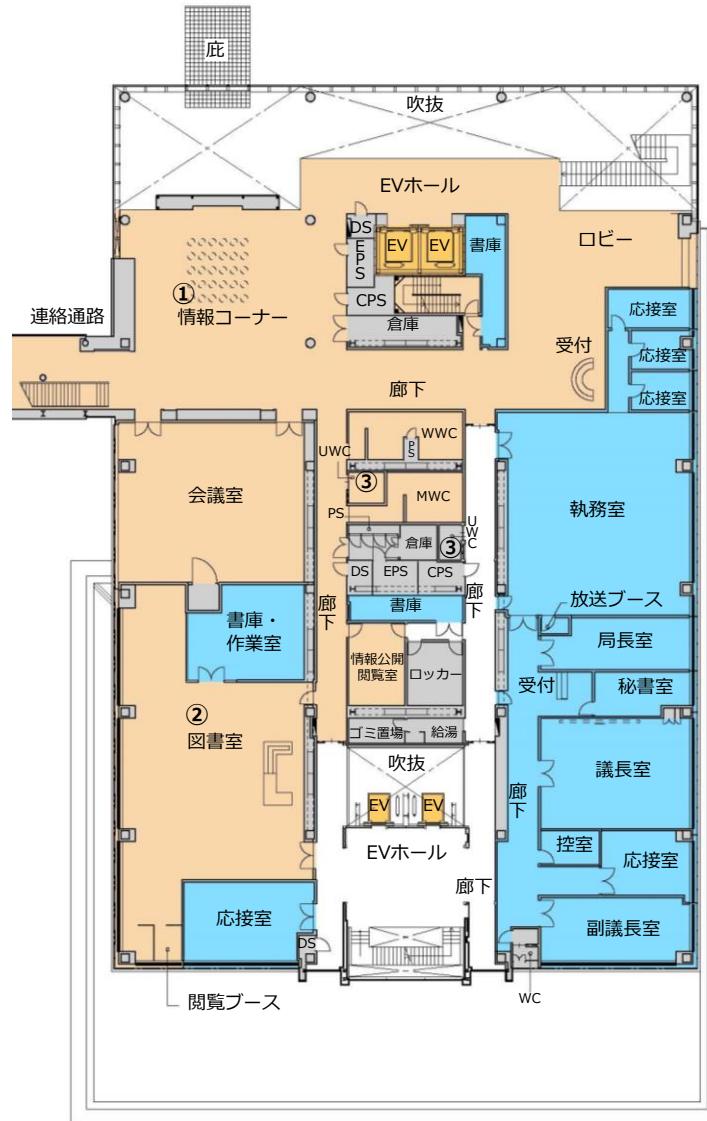
【1階】

- ① エントランスホール
2層吹抜による明るく開放的な空間とし、受付を分かりやすい場所に配置
- ② 多目的トイレ (UWC)
車椅子使用者、子ども連れの方等が使用しやすい機能を備えた多目的トイレを設置
- ③ 授乳室
乳幼児連れの方でも気軽に訪れることができるよう、調乳器を備えた授乳室を設置

【凡例】

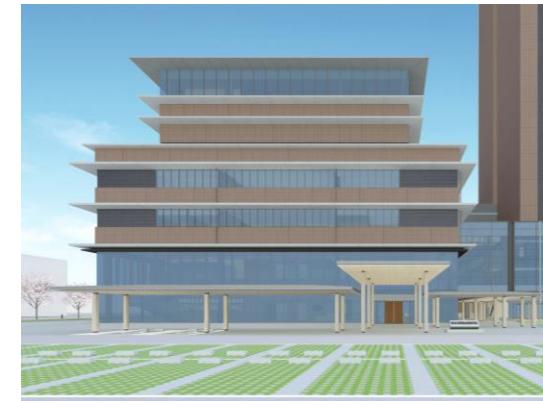
: 来庁者エリア、
 : 執務エリア、
 : 機械室等エリア、
 UWC: 多目的トイレ、MWC: 男性用トイレ、WWC: 女性用トイレ
 EV: エレベーター、EPS: 電力配線スペース、CPS: 通信配線スペース、DS: ダクトスペース、PS: 配管スペース

〈2階〉

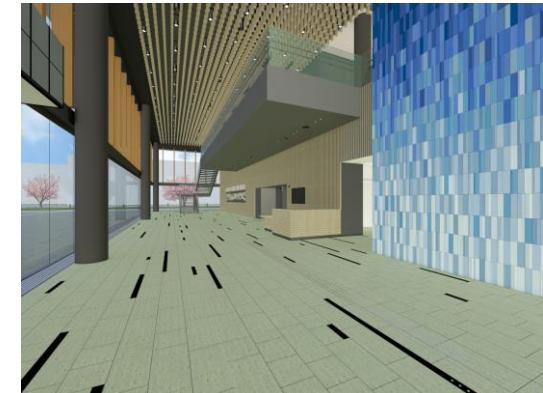


【2階】

- ① 情報コーナー
本会議、委員会の視聴等ができる情報コーナーを設置
- ② 図書室
来庁者も利用できる図書室
効率的に調査研究等を行えるよう、閲覧ブースを設置
- ③ 多目的トイレ (UWC)
車椅子使用者、子ども連れの方等が使用しやすい機能を備えた多目的トイレを設置



議会棟正面

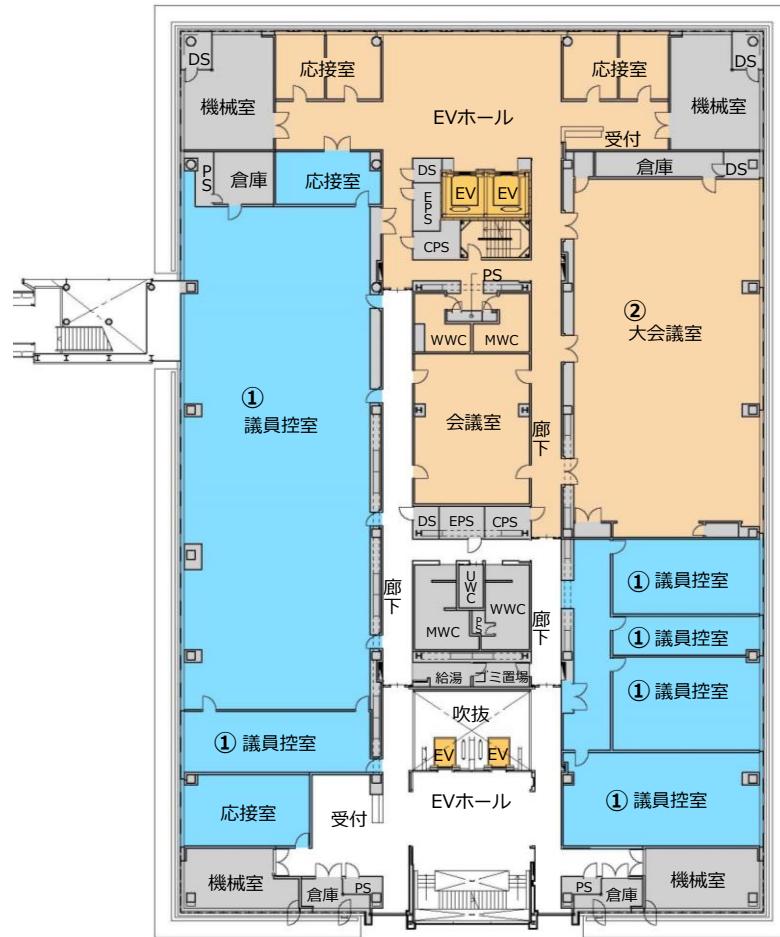


1階 エントランスホール



2階 情報コーナー

2-5 議会棟 ＜3階＞



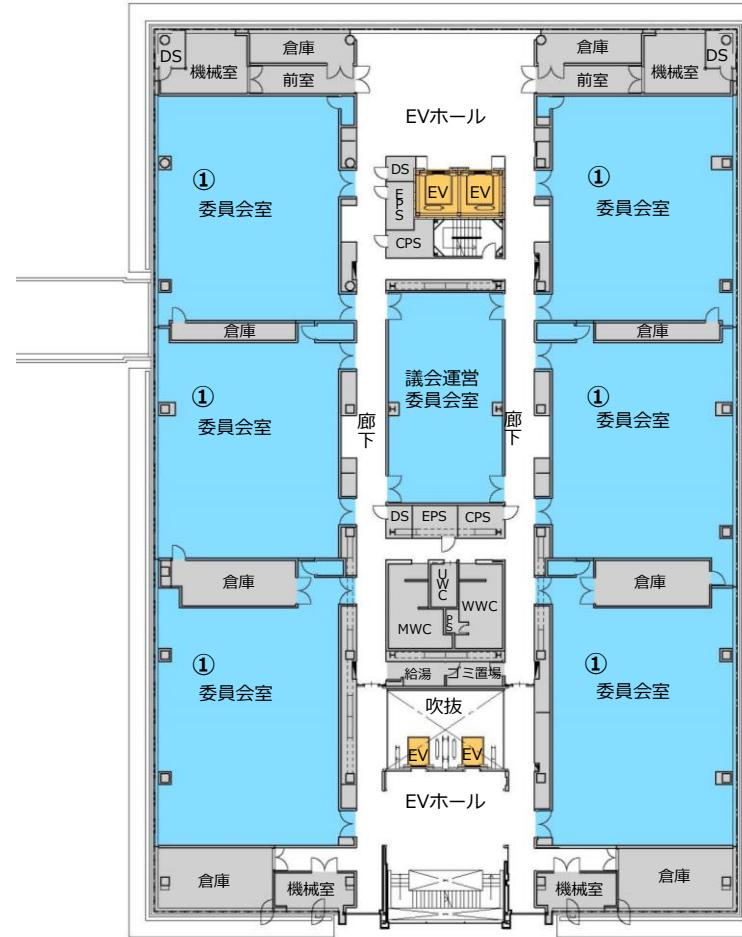
【3階】

- ① 議員控室
会派構成の変更にも柔軟に対応できる控室
- ② 大会議室
多様な会議形式に応じ3分割可能な大会議室
円滑な会議進行のため天井スクリーンやスピーカーを設置

【凡例】

: 来庁者エリア、
 : 執務エリア、
 : 機械室等エリア、
 UWC: 多目的トイレ、MWC: 男性用トイレ、WVC: 女性用トイレ
 EV: エレベーター、EPS: 電力配線スペース、CPS: 通信配線スペース、DS: ダクトスペース、PS: 配管スペース

＜4階＞



【4階】

- ① 委員会室
常任委員会、特別委員会併用の委員会室
傍聴席や記者席を含め十分なスペースを確保



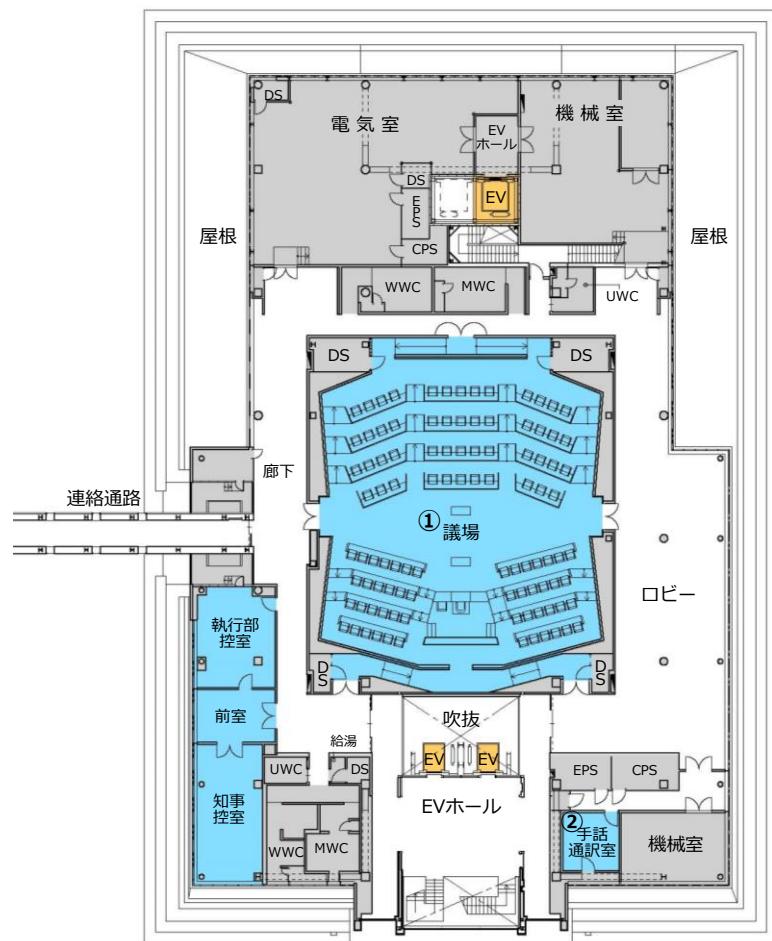
3階 大会議室



4階 委員会室

2-5 議会棟

<5階>



【5階】

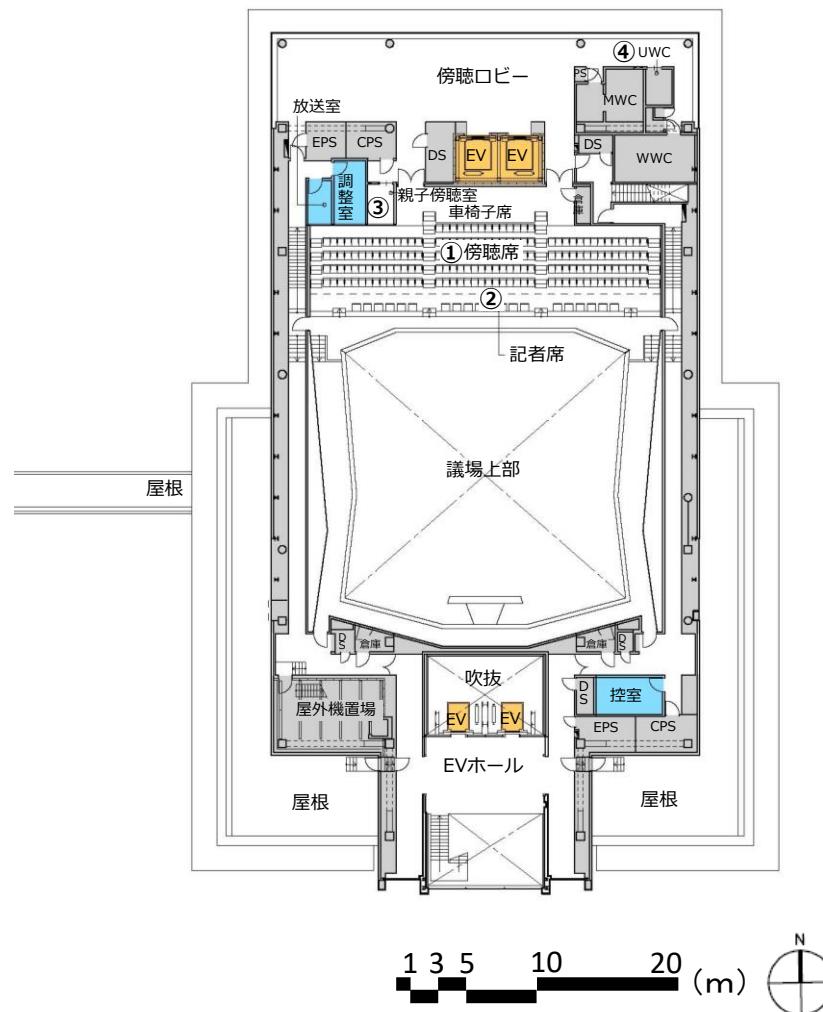
① 議場

議場の内装にタイルや木を多く用いるほか、木製家具を導入
車椅子でも席に寄り付けるよう、議場内にスロープを設置

② 手話通訳室

聴覚障がいのある方が傍聴できるよう、手話通訳室を設置
傍聴席に設置するモニター等で手話通訳を表示

<6階>



【6階】

① 傍聴席

傍聴席を192席設置し、うち車椅子スペースとして10
席分確保

② 記者席

TVカメラや新聞記者などのメディア用スペース

③ 親子傍聴室

子ども連れの方でも傍聴できるよう、専用の傍聴室を設置

④ 多目的トイレ (UWC)

車椅子使用者、子ども連れの方等が使用しやすい機能を
備えた多目的トイレを設置



5階 議場



6階 傍聴席

【凡例】

来庁者エリア、執行部エリア、機械室等エリア、UWC:多目的トイレ、MWC:男性用トイレ、WWC:女性用トイレ
EV:エレベーター、EPS:電力配線スペース、CPS:通信配線スペース、DS:ダクトスペース、PS:配管スペース

3 構造計画

各棟の構造計画

| 棟名 | 階数 | 主体構造 | 耐震構造 | 耐震部材 |
|----------|---------------|------|------|------------------|
| 行政棟（高層部） | 地上21階 塔屋2階 | 鉄骨造 | 免震 | たいしんまばしら 耐震間柱 |
| 〃（低層部） | 地上3階 | 鉄骨造 | 耐震 | ブレース |
| 〃（機械棟） | 地上3階 塔屋1階 | 鉄骨造 | 耐震 | ブレース |
| 議会棟 | 地上6階 | 鉄骨造 | 耐震 | ブレース |

耐震性能

- 人命の安全確保に加えて、大規模地震発生後、構造体の補修をすることなく建築物の使用が可能なよう、通常の建築物の1.5倍の耐震性を確保

基礎構造

- 建設地は、上から盛土、河川の氾濫などによる堆積地層、礫などの固い地層の順に構成されているため、地下深度19m付近から現れる固い地盤（第一礫層）を支持層とするよう杭基礎を施工

免震計画（行政棟<高層部>）

- 行政棟（高層部）において、地震のエネルギーを吸収する免震装置には、鉛プラグ挿入型積層ゴムアイソレータを使用

※鉛プラグ挿入型積層ゴムアイソレータ

積層ゴムアイソレータは、建物の重量を支えるとともに、ゴムの柔らかい性質を利用して、地震時においても水平方向にゆっくりとしか揺れず建物の揺れを軽減
中心部に挿入される鉛プラグは、地震発生後に継続するアイソレータの緩やかな揺れを抑制するほか、強風など地震以外の揺れも抑える機能を有する



免震装置
(鉛プラグ挿入型積層ゴムアイソレータ)

架構計画

（行政棟<高層部>）

- 上部構造は、十分な耐力と剛性を有する鉄骨造とし、構造を補強する耐震部材には、建築計画の制約が少なく、地震時において下部の免震装置への力の伝達が均一になる「耐震間柱構造」を採用
- 架構は内部空間に柱などの凹凸が出ない「アウトフレーム工法」とし、使いやすく自由度の高い屋内空間を確保

※耐震間柱構造

耐震間柱とは、本柱と本柱の間に設置されている柱
本柱のように常時の垂直力は負担せず、地震時において建物に横揺れの力が加わった際、当該横揺れに抵抗して躯体を垂直に保とうとする機能を有する構造部材

※アウトフレーム工法

柱や梁といった構造部材が外部に張り出す工法
構造部材の出っ張りによるデッドスペースがなく、室内空間を有効に使用することができる
また、外部設置の梁の上部を躯体や壁のメンテナンススペースとして利用可能

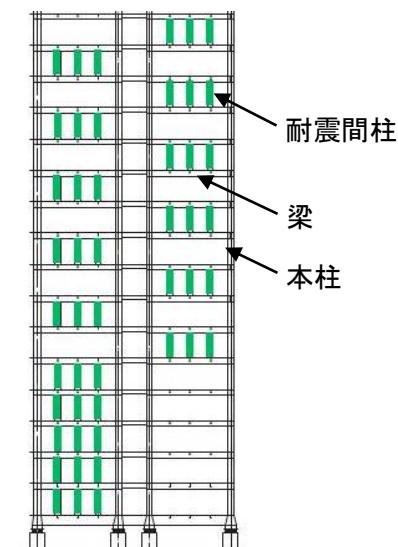
（行政棟<低層部・機械棟>・議会棟）

- 上部構造の鉄骨造を補強する耐震部材には、水平剛性が高い「ブレース構造」を採用
ブレースには、地震時に座屈（折れ曲がり）しない、座屈拘束ブレースを使用

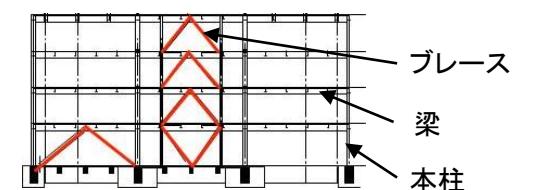
※ブレース構造

ブレース（斜め材）に地震力を負担させる構造

行政棟 高層部



議会棟



4 防災計画

耐震性・耐浸水性の強化

<耐震性>

- ・大規模地震発生時にも構造体の補修をすることなく業務遂行が可能な、通常建築物の1.5倍の耐震性を確保

<耐浸水性>

- ・受変電設備や非常用発電機など主要な設備を2階以上に配置するとともに、機械棟1階の主な入口に水密扉を設置

災害時の庁舎機能の維持（電力や水などのライフライン機能の維持）

<電力>

- ・事故や災害のリスクが低く、途絶時でも早期に復旧される特別高圧を2回線で受電
- ・非常用発電機2機を設置するとともに、72時間以上連続運転可能な燃料を備蓄
- ・万が一の非常用発電機の停止時でも、電源車両等による外部からの電源供給が可能

<水>

- ・上水道と地下水の複数水源を確保し、一定量を常時貯水

<ガス>

- ・耐震性があり、途絶時でも早期に復旧される中圧導管による都市ガスの引き込み
- ・シャワーや炊き出しに利用できるLPガスバルクタンクの設置

<通信>

- ・電話等の通信線を2回線で引き込み

<排水>

- ・公共下水道が使用できない場合に備え、災害時汚水貯留槽を設置
- ・災害時汚水貯留槽と仮設浄化槽とを接続できるよう配管を整備

<庁舎設備>

- ・エレベーターには地震による休止後、自動で安全を診断し運転再開する機能を付加

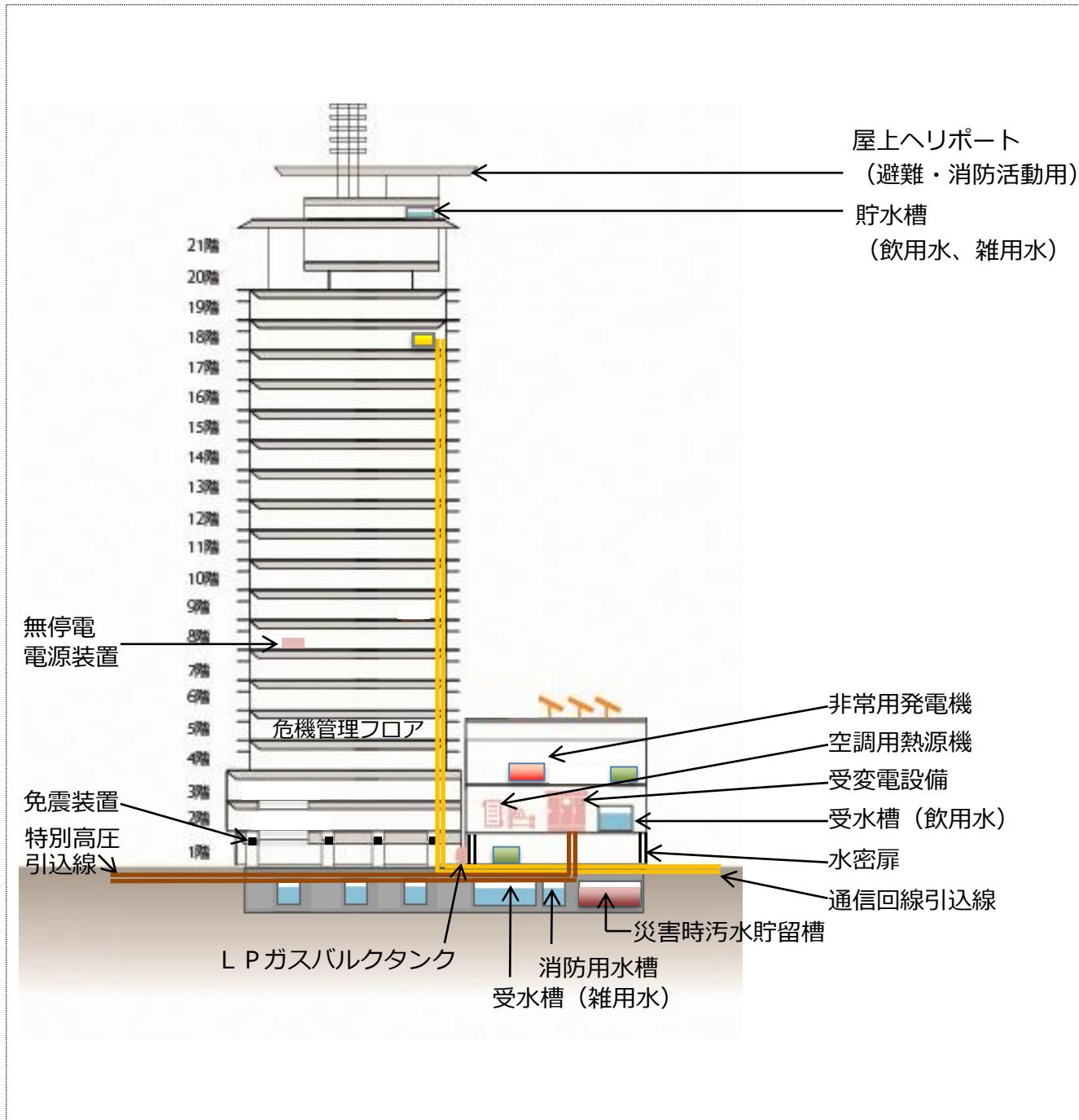
災害対策機能の強化

<災害対策本部機能>

- ・行政棟5階を危機管理フロアとし、常設の災害対策本部スペースを確保するとともに、大型モニターや防災情報通信システム等の設備を整備
- ・災害対策本部員室、災害情報集約センター、危機管理部執務室等の危機管理機能を同一フロアに集約することによる、円滑、迅速な災害対応
- ・食料・飲用水等を保管できる備蓄倉庫を設置

<ヘリポート>

- ・公園に防災活動等に使用するヘリポートを、行政棟屋上に緊急時の避難・消防活動に使用するヘリポートを設置



5 セキュリティ

セキュリティ確保の基本的な考え方

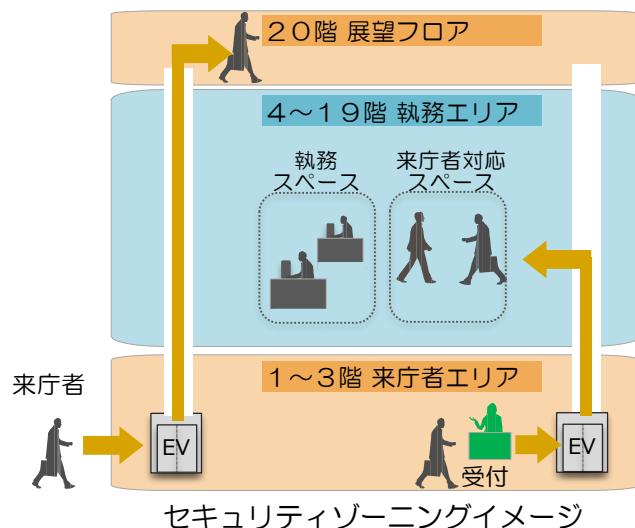
- 誰もが親しみやすい庁舎として整備する一方、個人情報保護や防犯等の観点でのセキュリティを確保
- 庁舎全体を、来庁者エリアと執務エリアに区分するゾーニングを導入

エリア区分（ゾーニング）

- 来庁者エリア
低層階（1～3階）及び20階を、県民に開かれ、にぎわいを創出する空間として配置
- 執務エリア
4～19階を執務エリアとして来庁者エリアと区別し、セキュリティ確保のため、執務エリアへの立入りの確認や、エリア内での段階的な立入制限を実施

来庁者対応の充実

- 低層階の来庁者エリアには食堂、売店、カフェ、銀行、郵便局、物販スペースなどの利便施設を配置
- 20階の展望フロアへ自由に上がることができるよう、専用エレベーター（2基）を設置
- 来庁者と職員が面談に使用できる会議室を執務エリアの来庁者対応スペースに十分に確保



6 ユニバーサルデザイン

動線計画

- 歩行者と車両の動線をできる限り分離するなど、安全でスムーズな移動ができる動線計画
- 建物内、外ともにシンプルで分かりやすい動線とし、総合受付は正面玄関から見やすい場所に設置

車寄せ・駐車場

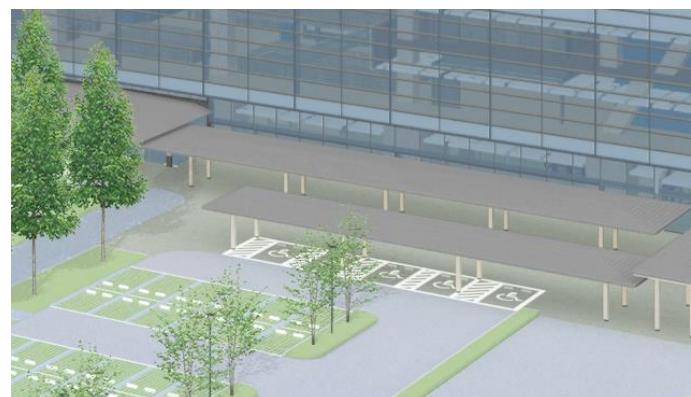
- 正面玄関付近に、車寄せや車椅子用駐車場等のほか、バス・タクシー乗降場を配置するとともに、雨天時の乗り降りや移動がしやすいように、庇を設置

来庁者向け窓口

- 正面玄関を1階に置くとともに、来庁者の多い総合窓口や利便施設を低層階に配置
- 総合受付には、車椅子使用者に配慮したローカウンターを設置

通路・エレベーター

- 通路は段差のない構造とし、車椅子やベビーカーの使用者に配慮した幅員を確保
- エレベーターには、音声案内や車椅子使用者用操作盤などを設置



車椅子用駐車場及び庇
(正面出入口付近)

案内サイン・誘導サイン

- 文字の大きさや配色、コントラストに配慮し、来庁者が見やすく分かりやすい案内サインを設置
- 誘導サインはイラストなどを効果的に用いるとともに、外国語による表記も併記
- 玄関等には音声誘導設備を設置

多目的トイレ

- 車椅子使用者、子ども連れの方等が使用しやすい機能を備えた多目的トイレを各階に設置

おむつ替えシート

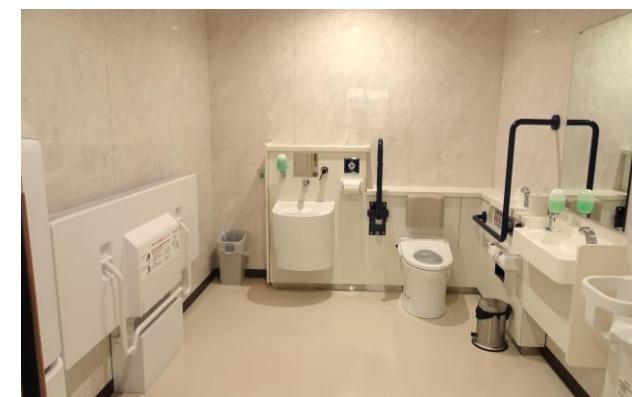
- 来庁者エリアの多目的トイレや授乳室内におむつ替えシートを設置

授乳室

- 乳幼児連れの方が気軽に訪れることができるよう、調乳器を備えた授乳室を設置

議場

- 傍聴席に車椅子使用者用のスペースを設置
- 手話通訳を傍聴席モニターで表示
- 子ども連れでの傍聴にも対応できるように、親子傍聴室を設置
- 議場内一列目及び演台付近は段差をなくすとともに、主な通路にスロープを設置して車椅子動線を確保



多目的トイレ

7 環境計画

省エネルギー・省資源対策

- ・断熱・遮蔽性能の高い窓ガラスの設置や、屋内外の温度差を利用した室内換気により、空調のエネルギー使用量を低減
- ・庇（ライトシェルフ）を用いた自然採光により照明用電力の使用量を低減
- ・センサー制御による調光・消灯や、コージェネ発電の廃熱利用によりエネルギー使用量を低減
- ・豊富な地下水の雑用水としての使用や、雨水を植栽散水に用いるなど、水資源を効果的に利用
- ・複数の熱源機の効率的な組み合わせや、エリア毎の空調システム導入により、空調のエネルギー使用量を低減
- ・エネルギー使用状況を管理・分析し、効率的な設備運転を行うビルエネルギー管理システム（BEMS）を導入

ライフサイクルコストの低減・長寿命化

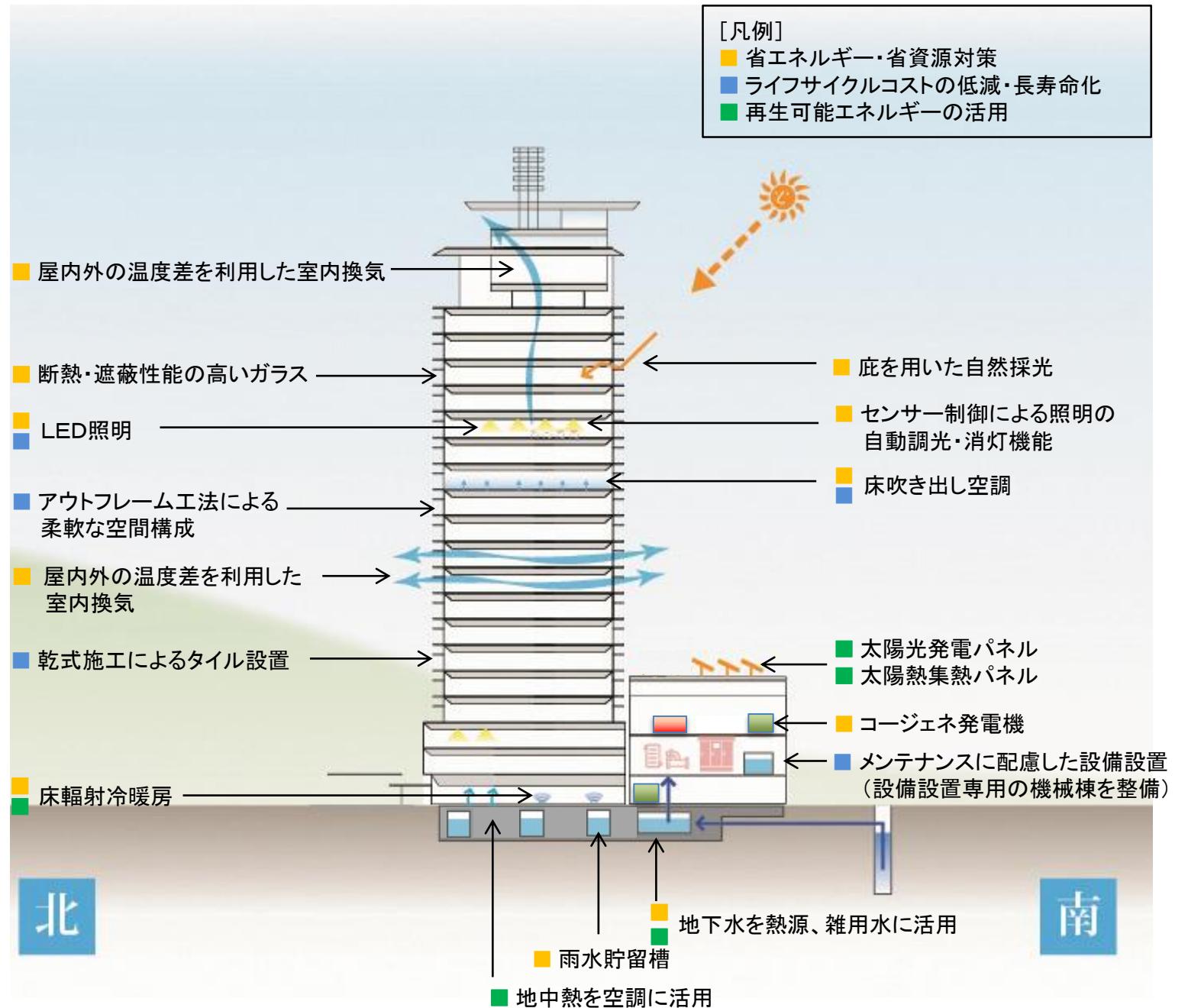
- ・LED照明や長寿命型蓄電池といった耐用年数の長い機器の導入
- ・行政需要の変化に伴うレイアウト変更に対応できる空間構成（アウトフレーム工法）
- ・耐久性のあるPCパネルや乾式施工によるタイルを外壁に使用
- ・設備のメンテナンスや更新が容易となる、専用の機械棟を設置

再生可能エネルギーの活用

- ・日照時間の長い地域特性を活かした、太陽光発電や太陽熱利用設備の導入
- ・年間を通じて温度の安定した地中熱※や地下水を空調用熱源に活用
※クール・ヒートトレンチ(地下溝)を通して予冷・予熱された空気を空調機に取り入れる形で地中熱を空調熱源に活用

建築物の環境性能評価

- ・建築環境総合性能評価システム（CASBEE）において、最高「Sランク」を取得予定
- ・建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）において、「四つ星」を取得予定



8 設備計画

電気設備計画

| 項目 | 仕様 | 備考 |
|-----------|---|-----------------------------|
| 電力引き込み | 地中電線路引き込み 特別高圧77kV(本線、予備線受電) | ・対災害性を考慮して受電線を二重にして引き込み |
| 受変電設備 | 屋内キュービクル ガス絶縁自冷式変圧器 5,000kVA×2台 | |
| 非常用発電設備 | ガスタービン発電機 2,000kVA×2台 (燃料:A重油) | ・72時間連続運転できる燃料を備蓄 |
| 太陽光発電設備 | 84kW(行政棟低層部及び機械棟屋上に設置) | |
| 燃料電池設備 | 3kW×1台 | ・燃料の水素は都市ガスから生成 |
| コージェネ発電設備 | 25kW×1台 | ・燃料は都市ガスを使用 |
| 幹線・動力設備 | 配線方式:ケーブルラック+ケーブル方式(エコケーブル) 配電電圧:動力 三相三線210V・420V、電灯 単相三線210V/105V | |
| 無停電電源設備 | 制御弁式鉛蓄電池 300kVA×2台 | ・サーバー機器用 |
| 直流電源設備 | 制御弁式鉛蓄電池 | ・非常用照明、受変電制御用(各高圧電気室に設置) |
| 照明設備 | LED照明(センサーによる調光・消灯機能) | ・非常用照明を除く全ての照明にLEDを採用 |
| 構内交換設備 | デジタル電話交換機 中継台+ダイヤルイン方式 | ・一般電話機、多機能電話機、PHS |
| セキュリティ設備 | 非接触式カードリーダー、セキュリティゲート及び電気錠付扉 | ・来庁者エリアから執務エリアへ入る際のセキュリティ確保 |
| その他弱電設備 | 情報表示、誘導支援、テレビ共同受信、監視カメラ、自動火災報知 等 | |

空調設備計画

| 項目 | 仕様 | 備考 |
|-------------|---|------------------------------|
| 熱源設備 | 電気:ターボ冷凍機(2台)、空冷ヒートポンプチラー(1台)、水冷ヒートポンプチラー(1台) ガス:ガス焚冷温水発生機(3台) | ・中央熱源方式 |
| 空気調和設備 | エントランス:床吹き出し空調、床輻射冷暖房、デシカント空調 執務エリア:(9~16階)床吹き出し空調、(その他階)天井吹き出し空調 会議室:ファンコイルユニット 議場:天井吹き出し空調 電気室:電気式パッケージエアコン | |
| 換気設備 | 第1種換気:機械室、電気室 等、第3種換気:トイレ、給湯室 等 | ※第1種換気:機械給排気、第3種換気:自然給気・機械排気 |
| 中央監視・自動制御設備 | 中央一括管理方式、ビルエネルギー管理システム(BEMS)導入 | |
| 排煙設備 | 機械排煙・自然排煙併用 | |

衛生設備計画

| 項目 | 仕様 | 備考 |
|-------|---|--|
| 給水設備 | 上水道(飲用水)、地下水(雑用水、冷却塔補給水)、雨水(植栽散水) | |
| 給湯設備 | 給湯室:貯湯式電気温水器(個別給湯)、シャワー(1階):ガス瞬間式湯沸器(個別給湯) | ・シャワー用の湯沸器の燃料はLPガス |
| 排水設備 | 汚水、雑排水、厨房排水:公共下水道へ排水、雨水:植栽散水に利用 | ・そのほか、災害時汚水貯留槽(189m ³)を設置 |
| 消火設備 | 屋内消火栓、屋外消火栓、スプリンクラー、連結送水管、窒素ガス消火、移動式粉末消火、消防用水、フード消火 | |
| さく井設備 | 井戸×2本 | ・行政棟東側 |
| ガス設備 | 都市ガス:中圧導管により引き込み(ガバナ設置により一部低圧ガス供給) LPガス:LPガスバルクタンク設置 980kg | ・空調熱源や厨房設備に都市ガスを利用 ・LPガスは、災害時に炊き出し等への利用可能 |